

研究課題名

ウイルス分離試験における網羅的ウイルス検索の適用方法の検討

研究の概要

ウイルス検査を実施するうえでウイルス分離試験は遺伝子検査と両軸であり、分離したウイルス株は詳細な解析用試料となるなど有効活用が可能である。また、PCR検査を補完する役割も持ち合わせている。しかしながら、分離されたウイルスが診断名と関連がなかった場合、同定するには多くのウイルスを対象とした様々な同定試験を実施せねばならず、検査結果の提出が困難な状況にある。

本研究では、分離されるウイルスに対し、次世代シーケンサー（NSG）を用いた網羅的ウイルス検索法を用いることで、様々なウイルスに対応する検査方法の設定を目的とする。

研究期間

令和3年度から令和5年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター
所長 吉村 和久

研究責任者の氏名

微生物部ウイルス研究科
原田 幸子

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。